

平成19年度財団法人奈良市文化振興センター事業計画書

自 平成19年4月 1日

至 平成20年3月31日

1. 事業方針

財団法人奈良市文化振興センターは、文化活動を総合的に普及振興することにより、国際文化観光都市奈良の文化の向上を図り、もって市民文化の発展に寄与するとともに、より豊かな地域社会づくりに資することを目的とする。

2. 事業計画

平成19年度事業は、次のとおりとする。

(1) 管理運営事業

事業内容

管理施設の設置目的を達成するため、適正管理を行う。特に市民の各種団体、サークル等による音楽、演劇、講演会、美術、創作活動等の発表、鑑賞の場として積極的な誘致を図り、ふれあい豊かな地域社会づくりを促進する。

管理施設

なら100年会館

敷地面積 16,061.76 m²

延床面積 22,401.91 m²

奈良市西部会館市民ホール

延床面積 1,860.52 m²

奈良市美術館

延床面積 895.29 m²

奈良市北部会館市民文化ホール

延床面積 1,728.54 m²

(2) 文化振興事業

優れた芸術文化を市民に紹介するため、文化振興事業を実施する。

(予定事業)

なら100年会館

大ホール

日本を代表するソプラノ歌手とオーディションによって選出された子役との共演による、オーケストラ生演奏と演技を同時に楽しんでいただくオペラ「夕鶴」をはじめ、観光事業とタイアップし毎年好評を得ている「なら燈花会記念コンサート」、話題のタレントによる講演会、人気アーティストによるポップス・演歌コンサートなど25事業30公演を実施する。

中ホール

「さあ、お能に挑戦！」をはじめとする伝統芸能育成事業や、財団法人地域創造との共催による音楽とダンスの地域活性化事業、奈良市出身のシンガーによるコンサート、「ならチェンバーアンサンブル」の室内楽など15事業16公演を実施する。

小ホール

「ならを元気にするセミナー」をはじめとする奈良の経済・文化を考える講演会や、昨年に引き続き「ソフトストレッチング体操教室」、夏休み・冬休みにこども向けにおこなう理科実験、人形劇など5事業13公演を実施する。

その他（アウトリーチ活動）

公演に出演するアーティストの協力により、学校・公共・福祉施設等での無料コンサートやワークショップを実施し、積極的に文化情報を発信することにより、多くの方々に会館へ来ていただくきっかけを提供する。

奈良市西部会館市民ホール

「夏休み親子映画会」、「こども向け人形劇」の2事業4公演を実施する。

奈良市美術館

「クレパス画展」では、日動美術財団とサクラアートミュージアムが所蔵する現代洋画壇の作家作品を紹介する。また、市内の小中高高校生による「奈良市児童生徒作品展」や奈良市美術家協会と共に「奈良市美術家展」・「市民実技講座」、公募展の市展「なら」の5事業を実施する。

奈良市北部会館市民文化ホール

ホール等を利用して日頃から文化、芸術活動をする団体・サークルが多数参加して催す「高の原わくわくプラザ」「フェスティバルIN 北部ホール」をはじめ、地域活性化事業として文化協会と連携し開催する「平城ニュータウン地区文化祭」。また、地域の子どもたちに手作りの楽しさを知ってもらう「からくりおもちゃ教室」や、プロの演奏家を招いての「高の原クラシックコンサート」等12事業28公演を実施する。このほか様々な分野において文化芸術発信につながる「高の原文化講座」6事業を実施する。